

## 特集： 外国人向けの広報 ～やさしい日本語を使おう～

小平市は外国人が5,400人以上住っていますが、多様な国の出身者へ日常生活に必要な情報を分かりやすく伝えるために「やさしい日本語」が普及しています。やさしい日本語の日常的な使い方について記載します。

### ■在住外国人

日本の在住外国人は307万人(2022年末)で、過去最高を更新しています。東京は58万人、小平市は下図のように外国人が5,400人以上住んでいます。しかし、言葉の壁で学校、仕事、病院などでコミュニケーションがうまく取れない場合があります。それで、ボランティアによる日本語教室が東京都内で約300団体あり、小平市でも日本語教室が7団体あります。



### ■やさしい日本語

従来から外国人への情報伝達として英語・中国語・ハングル語など多言語による表記が行われてきました。しかし、多様な国の人々が増えてくると言語の種類が多くなり、多言語化は難しくなります。そこで「やさしい日本語」が提唱されています。やさしい日本語は外国人に分かりやすい簡単な言葉で表現した日本語です。例えば、「飲料水」は「のみもの」、「召し上がる」は「食べる」と言いかえます。日本語を話す時は下記の点に配慮します。

- ・難しい言葉ではなく、簡単な言葉で話す。
- ・文を短くして、長い文は、いくつかの文に分ける。
- ・ゆっくり、はっきりと話す。
- ・敬語は使わない。
- ・カタカナの外来語はなるべく使わない。
- ・バラバラ、キラキラなど擬音語や擬態語を使わない。

やさしい日本語の基本は「はさみの法則」です。

は： はっきり言う

さ： さいごまで言う

み： みじかく言う

また、文章を書く場合は漢字にふりがなを付けることや単語と単語の間にスペースを空ける「分かち書き」にすると読みやすくなります。

やさしい日本語は、阪神・淡路大震災をきっかけに災害情報を外国人へ分かりやすく伝えるために考えられましたが、現在は災害時だけでなく、日常のコミュニケーションでも外国人と日本人との共通言語として、全国的に普及しています。文化庁は、やさしい日本語の活用を促進するため、「[在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン](#)」を作成しています。また、NHKはやさしい日本語で書かれたニュース「NEWS WEB EASY」<https://www3.nhk.or.jp/news/easy/>を掲載して、外国人にも分かりやすい言葉でニュースを伝えています。

### ■日本語発表会

小平市では外国人が日本語教室でやさしい日本語を学習して毎年12月に日本語発表会が行われます。外国人が日本の生活で感じたことなど日頃の日本語学習の成果を発表します。昨年の発表者の出身国は中国、香港、カナダ、ネパール、ミャンマー、マレーシア、コートジボワールと多彩でした。



小平市日本語発表会（中央公民館 2022年12月）

### ■音声翻訳アプリ

外国人とのコミュニケーションにはスマホの音声翻訳アプリも便利です。日本で開発されたVoiceTra(ボイストラ)は日本語で話しかけると外国語に翻訳してくれる無料のアプリです。<https://voicetra.nict.go.jp>



ボイストラ

### ■まとめ

外国人との多文化共生のためには、いろいろな国の文化的な違いをお互いに認めていく必要があります。日本人も外国人に対して、やさしい日本語を話すように心掛けて、お互いに歩み寄りながら理解していくと信頼が生まれ、多文化共生につながると思います。

(文責:佐藤)